

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地震被害想定における死者数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R6.5.13
組織名(部)	危機管理防災局	組織名 (準部・課・機関名)	防災課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域の防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーの育成を推進します。	政策13-1-①	自主防災組織実施 防災訓練参加者数	39,320人	35,412人	地域防災力育成事業 (自主防)	自主防災組織の防災訓練に対し助成金を交付し、地域における防災力向上及び自主防災組織の機能強化を図ります。	×	・件数、補助金額は昨年度並みであったが、参加者数が昨年度より減少している。	自主防災組織の防災訓練参加者数はコロナ前の水準には届いていないため、引き続き、助成金を交付するとともに、近年、防災訓練を実施していない自主防災組織を対象に講習会を開催し、訓練実施を働きかけます。
2	避難行動や避難生活に配慮が必要な高齢者や障がい者などが適切な避難を行えるよう、個別避難計画の策定支援や福祉避難所の充実を図ります。	政策13-1-①	福祉専門職等との連携による個別避難計画の作成件数(累計)	400件	13件	避難行動要支援者支援制度促進事業	地域向け講習会等を実施するとともに、優先度が高い要支援者については、福祉専門職等との連携により、同制度に係る個別避難計画の作成を推進します。	×	・東、江南、秋葉、南区で地域向け講習会の開催しました。 ・南区に計画作成について相談し、後期に居宅介護事業者等から契約者へ計画作成の働きかけを依頼しました。(対象者約120人)	個別避難計画作成のため、引き続き地域向け講習会等を実施するとともに、福祉専門職等との連携を進めます。
3	避難スペースの確保に一層努めるとともに、発災当初から円滑に避難所を開設・運営できるよう、地域住民、施設管理者、行政職員の3者連携のもと、平時から避難所ごとの運営組織の立ち上げを推進します。	政策13-1-② 行財3-2-②	避難所運営委員会数(累計)	170団体	195団体	地域防災力育成事業 (避難所)	地域住民、施設管理者、行政職員の3者が集まり、避難所運営に係る講習会と避難所の現地検討会を実施することで避難所運営体制の強化を図ります。	○	・R7.3月末で新規45団体立ち上げ済み(計195団体)で年間目標を達成しました。	地域ごとにワークショップ等を開催するなど、避難所運営委員会の立ち上げを一層促進するとともに、避難所運営に多様な視点を取り入れるなど、誰もが安心して避難生活を過ごせる避難所づくりに取り組みます。
4	発災時の早期からの復旧を進めるため、民間事業者などとの災害時応援協定の締結を推進します。	政策13-1-③	災害時応援協定の締結団体数	177団体	178団体	災害時応援協定締結の推進	食料・水をはじめとする必要物資の確保や物資配送、道路等の応急復旧などの分野において、民間事業者等との災害時応援協定の締結を推進することで、本市の災害対応力を高めます。	○	・R7.3月末で178団体となり年間目標を達成しました。	民間事業者等との災害時応援協定の締結を推進し、本市の災害対応力を高めます。
5	北朝鮮による拉致問題等の風化を防止し、解決に資するため積極的に啓発活動を行います。		啓発イベントの参加者数(累計)	1,000人	1,115人	拉致問題啓発事業	忘れるな拉致 県民集会、啓発講演会、映画上映会、庁内研修会を開催し、拉致問題の啓発を図ります。	○	・市民向けの講演会や職員研修などを実施し、目標を達成しました。 ・4/15 新任係長研修82名 ・5/30 新任職員研修158名 ・7/20 映画上映会60名 ・8/4 講演会100名 ・11/16 県民集会650名 ・12/14 映画上映会65名 合計 1,115名	拉致問題等の風化を防止するため、国、県などと連携して、若年層を対象とした啓発活動を行います。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地震被害想定における死者数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R6.5.13
組織名(部)	危機管理防災局	組織名 (準部・課・機関名)	危機対策課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	防災気象情報の利活用など災害対応能力を高めるシステムの充実を図り、災害対策センターの機能強化に取り組みます。	政策13-1-③ 行財1-4-①	自然災害や危機事象に関する研修・訓練の実施回数	33回	36回	庁内・局内訓練の実施	現状に則した、より実効性のある研修・訓練を実施し、迅速・確実な対応を目指す。 ・新任局員研修 ・ミサイル研修・訓練 ・洪水対応演習(国・県合同) ・土砂災害対応研修(県) ・遠隔操作端末配信訓練 ・地震初動対応研修、訓練 ・阿賀野川、信濃川下流水防訓練 ・水害・土砂災害対応研修、訓練 ・全市一斉地震対応訓練 ・災害時情報システム操作研修 ・非常用自家発電設備取扱研修 ・防災無線操作研修 ・消防庁舎バックアップ機能確認訓練 ・協力部マニュアル研修 ・全庁訓練、コントローラー、プレイヤー研修 等	○	・新任局員研修 ・洪水対応演習 ・土砂災害対応研修 ・情報伝達訓練(2) ・遠隔操作端末訓練(2) ・ミサイル対応研修 ・ミサイル対応訓練(3) ・信濃川総合水防訓練 ・水害土砂災害対応研修 ・水害土砂災害対応訓練(2) ・全市一斉地震対応訓練 ・水防対応訓練 ・災害時情報システム研修(6) ・防災無線操作研修 ・協力部マニュアル研修 ・対策本部事務局設定訓練 ・消防庁舎バックアップ機能確認訓練 ・非常用自家発電設備取扱研修 ・全庁訓練、コントローラー、プレイヤー研修 等	引き続き、実効性のある研修・訓練を実施し、迅速・確実な対応を目指します。
			検証結果報告書の作成	検証結果報告書の作成	検証結果報告書の作成	令和6年能登半島地震に係る災害初期対応検証会議の実施	能登半島地震に対して本市が行った災害対応について、全庁的な課題整理を行うとともに、改善に向けた取組を検討することで、本市の災害対応の強化を図り、次の災害に備える。 ・検証チームに課題・問題点の抽出、原因の分析、改善策の検討 ・有識者や関係団体、地域団体からの意見聴取		検証結果を取りまとめ、報告書を作成しました。また、作成に協力いただいた市民の方や関係者に共有しました。 併せて、検証の中で整理した各課題について、着実に改善を進めるためのロードマップも作成し、全庁を挙げて取り組みました。	
2	災害時の避難情報の伝達について、地域の実情や受け手の状況に合わせた更なる多量化・多様化に取り組みます。	政策13-1-③	にいがた防災メールの登録者数	35,500	33,426	にいがた防災メールによる防災情報の発信	にいがた防災メールにより市民に有益な防災情報を積極的に発信するとともに、防災事業の参加時に登録を促すチラシを配布する。	×	33,426(R5年度末比-30) にいがた防災メールの登録者数については目標未達ですが、新潟市LINE公式アカウント防災登録者数は約7,000人増加するなど、避難情報伝達の多量化に取り組みました。	区役所の窓口で転入者向けのチラシを配布するなど、引き続き防災メールの登録を案内します。
		政策13-1-③	新潟市危機管理防災局X(エックス)のフォロワー数	25,000	23,971	X(エックス)による防災情報の発信	X(エックス)により市民に有益な防災情報を積極的に発信するとともに、防災事業の参加時にフォローを促すチラシを配布する。		23,971(R5年度末比+1,363) 組織目標は未達ですが、総合計画の目標値(21,502)は達成しました。	
3	本市の原子力災害対策の実効性を高めます。		原子力災害対策に関する会議等への参画回数	8回	8回	市町村による原子力安全対策に関する研究会、新潟県の訓練への参画、柏崎刈羽原子力発電所の視察	・幹事市会議(研究会) ・PAZ・UPZ会議(研究会) ・実務担当者会議(研究会) ・実務担当者研究会(研究会) ・ブロック会議(研究会) ・新潟県原子力防災訓練(情報伝達訓練) ・新潟県原子力防災訓練(住民避難訓練) ・柏崎刈羽原子力発電所視察	○	・幹事市会議(研究会) →令和6年4月12日(金) ・PAZ・UPZ会議(研究会) →令和6年4月17日(水) ・実務担当者会議(研究会) →令和6年5月10日(金) ・柏崎刈羽原子力発電所視察 →令和6年7月9日(火) ・実務担当者会議(研究会) →令和6年11月11日(月) ・新潟県原子力防災訓練(情報伝達訓練) →令和7年1月24日(金) ・新潟県原子力防災訓練(住民避難訓練) →令和7年1月25日(土) ・実務担当者会議(研究会) →令和7年2月12日(水)	引き続き、原子力災害対策の実効性を高めるため、原子力安全対策に関する研究会や訓練等に積極的に参加をしていきます。